

1. 件名：特定兼用キャスクの設計の型式証明等に係る審査会合への対応について

2. 日時：令和4年2月8日 15:30～15:50

3. 場所：原子力規制庁 9階C会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

止野安全管理調査官、高橋管理官補佐、立元管理官補佐、深堀上席安全審査官、  
松野上席安全審査官、石井主任安全審査官、田澤審査チーム員

（核燃料施設審査部門）

石井企画調査官、甫出主任安全審査官

日立造船株式会社：

機械・インフラ事業本部プロセス機器ビジネスユニット原子力機器事業推進室

主席技師 他5名※

5. 要旨

（1）日立造船株式会社（以下「日立造船」という。）から、本日の審査会合（第14回特定兼用キャスクの設計の型式証明等に係る審査会合）において、以下のとおり、議論された事項の確認があった。

○ 臨界防止機能については、減速材（水）がキャスク内に偏在することなく均一に排出できる構造であるとしていることについて、バスケットプレートの構造面の特性等を踏まえて、詳細に説明すること。

○ 除熱機能については、伝熱解析コード（ABAQUS）の適用性について、本申請の特定兼用キャスクと ABAQUS コードの解析機能の検証に用いた定常伝熱試験用供試体との伝熱形態の比較等を踏まえて、詳細に説明すること。

（2）原子力規制庁は、上記の確認事項に関する説明資料の作成を依頼するとともに、本日の審査会合における議論を踏まえ、引き続き確認を行うことを伝えた。

（3）日立造船より、本日の議論を踏まえた説明資料の作成等について、了解した旨、回答があった。

6. その他

提出資料なし

以上